

經濟港灣委員會記錄(No.33)

1 日 時 令和6年12月9日(月)
午前10時00分 開会
午前10時40分 閉会

2 場 所 第3委員會室

3 出席委員(9人)

委員長	吉田幸正	副委員長	渡辺修一
委員	田中元	委員	香月耕治
委員	渡辺徹	委員	世良俊明
委員	奥村直樹	委員	高橋都
委員	本田一郎		

4 欠席委員(0人)

5 出席説明員

産業經濟局長	柴田泰平	企業立地・農林水産担当理事	山口博由
総務政策部長	正代憲幸	産業政策課長	遠藤大介
地域經濟振興部長	丸山保	中小企業振興課長	藤原国久
企業立地支援部長	城戸健一	IT産業誘致担当課長	山下孝之
農林水産部長	藤島研二郎	農林施設担当課長	宮野謙剛
港灣空港局長	佐溝圭太郎	総務部長	宮金満
総務課長	日比野将隆	港営部長	小田聡
港営課長	中野仁	公営競技局長	春日伸一
公営競技局次長	横山久	総務課長	本多利明
競輪事業課長	足立守行		外関係職員

6 事務局職員

議事課長 木村 貴治 書記 西嶋 真

7 付議事件及び会議結果

番号	付議事件	会議結果
1	審査日程について	9日は議案の審査、10日は議案の採決及び陳情の審査を行うことを決定した。
2	議案第155号 市有地の処分について	議案の審査を行った。
3	議案第176号 指定管理者の指定について（北九州市立商工貿易会館等）	
4	議案第177号 指定管理者の指定について（北九州市立商工貿易会館等）	
5	議案第205号 令和6年度北九州市一般会計補正予算（第4号）のうち所管分	
6	議案第208号 令和6年度北九州市卸売市場特別会計補正予算（第1号）	
7	議案第209号 令和6年度北九州市渡船特別会計補正予算（第1号）	
8	議案第214号 令和6年度北九州市臨海部産業用地貸付特別会計補正予算（第1号）	
9	議案第216号 令和6年度北九州市公営競技事業会計補正予算（第2号）	

8 会議の経過

○委員長（吉田幸正君） それでは、開会をいたします。

本委員会に付託された議案は、お手元配付の一覧表のとおり、8件であります。

審査日程につきましては、本日は議案の審査を行い、明日は議案の採決及び陳情の審査を行います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

御異議なしと認め、そのように決定をいたしました。

ただいまから議案の審査を行います。

議案第155号、176号、177号、205号のうち所管分、208号、209号、214号及び216号の以上8

件について一括して議題といたします。

審査の方法は、一括説明、一括質疑といたします。当局の説明は、できるだけ要点を簡潔、明瞭にお願いいたします。なお、議案の説明は着席のままお受けいたします。

それでは、説明を求めます。総務政策部長。

○総務政策部長 産業経済局でございます。着座にて失礼いたします。

産業経済局所管分の議案は、一般議案2件、補正予算議案3件でございます。

初めに、一般議案について説明いたします。

タブレット端末資料、北九州市議会定例会議案の301ページをお願いいたします。

議案第176号から177号、指定管理者の指定についてです。11月21日に開催されました経済港湾委員会におきまして、施設の指定管理者候補の選定結果について報告させていただきました。本議案は、それらの候補者を正式に指定管理者として指定するものでございます。

まず、議案第176号、北九州市立商工貿易会館につきまして、北九州商工会議所を指定管理者に指定するものでございます。指定する期間は、令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間です。

次に、議案第177号、釣り台付き遊歩道につきまして、ひびき灘漁業協同組合を指定管理者に指定するものでございます。指定する期間は、令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間となっております。

次に、補正予算議案について御説明いたします。

議案第205号、令和6年度北九州市一般会計補正予算のうち産業経済局所管分につきまして、北九州市補正予算に関する説明書により説明いたします。なお、金額につきましては万円単位で説明させていただきます。

タブレット端末の11ページをお願いいたします。歳入でございます。上から2番目、19款2項12目災害復旧費県補助金の補正額560万円は、令和6年8月の台風10号により被災した小倉南区の農地の災害復旧事業に係る県の補助金でございます。

14ページをお願いいたします。一番上、24款6項4目雑入の補正額190万円は、先ほど御説明した災害復旧事業に係る地元負担金でございます。

32ページをお願いいたします。歳出です。7款1項1目職員費の補正額1,391万円は、人事委員会の勧告等に基づく給与改定及び期末勤勉手当支給割合の変更等に伴いまして、農林水産業関係職員給を補正するものでございます。

33ページをお願いいたします。7款2項1目農業委員会費の補正額378万円は、先ほどと同様の理由によりまして職員給を補正するものでございます。

34ページをお願いいたします。8款1項1目職員費の補正額5,304万円は、先ほどと同様の理由により産業経済関係職員給を補正するものでございます。

35ページをお願いいたします。8款2項1目商工業振興費の補正額1,490万円のうち産業経済

局所管分は1,030万円で、中小企業融資の利用者が返済不能となった場合の損失補償が当初の見込みを下回ったことによりまして、中小企業振興資金融資貸付金等を8,070万円減額いたします。また、企業誘致の件数及び新規雇用者数が当初の想定を超えたことによりまして、企業立地促進経費を9,100万円増額するものでございます。

36ページをお願いいたします。8款4項1目繰出金の補正額1,803万円は、卸売市場及び渡船特別会計の職員給補正に伴いまして繰出金を補正するものでございます。

47ページをお願いいたします。14款3項1目農業施設災害復旧費の補正額940万円は、先ほど御説明した台風10号によります災害復旧事業に要するものでございます。

続きまして、議案第208号、令和6年度北九州市卸売市場特別会計補正予算でございます。

73ページをお願いいたします。歳入です。2款1項1目一般会計繰入金の補正額1,341万円は、職員給補正に伴い、一般会計からの繰入金を補正するものでございます。

74ページをお願いいたします。歳出です。1款1項1目卸売市場管理費の補正額1,341万円は、先ほどと同様の理由により職員給を補正するものでございます。

続きまして、議案第209号、令和6年度北九州市渡船特別会計補正予算でございます。

77ページをお願いいたします。歳入です。5款1項1目一般会計繰入金の補正額462万円は、職員給補正に伴いまして一般会計からの繰入金を補正するものでございます。

78ページをお願いいたします。歳出です。1款1項1目渡船管理費の補正額462万円は、先ほどと同様の理由により職員給を補正するものでございます。

以上で産業経済局所管分の説明を終わります。よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願いいたします。

○委員長（吉田幸正君） 総務部長。

○総務部長 着席にて御説明させていただきます。

本日御審議をお願いいたします港湾空港局所管分は、一般議案1件、補正予算議案2件の合計3件でございます。

初めに、一般議案について御説明いたします。

タブレット端末資料、令和6年12月北九州市議会定例会議案の289ページをお願いいたします。議案第155号、市有地の処分についてでございます。

門司区新門司北三丁目に所在する市有地を流通保管施設用地として売り払うため、北九州市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により付議するものでございます。

売り払う土地の地目は雑種地、所在地は門司区新門司北三丁目1番37、土地の面積は1万688.21平方メートル、売払い予定金額は4億415万7,044円でございます。

次に、補正予算議案について御説明いたします。

議案第205号、令和6年度一般会計補正予算のうち港湾空港局所管分について、令和6年度北

九州市補正予算に関する説明書により御説明いたします。なお、金額は万円単位で御説明させていただきます。

タブレットの13ページをお願いいたします。歳入でございます。24款3項7目港湾費貸付金元利収入の補正額4,091万円は、一般会計から臨海部産業用地貸付特別会計への貸付けに係る償還金を増額補正するものでございます。

40ページをお願いいたします。歳出でございます。10款1項1目職員費の補正額4,782万円は、港湾関係職員の給与費につきまして、給与改定及び期末勤勉手当支給割合の変更等に伴い、増額補正するものでございます。

48ページをお願いいたします。15款1項1目公債償還特別会計繰出金の補正額4,091万円は、先ほど御説明いたしました臨海部産業用地貸付特別会計への貸付けに係る償還金を公債償還基金に積み立てるため、公債償還特別会計への繰出金を増額補正するものでございます。

57ページをお願いいたします。繰越明許費でございます。

表の中ほど、10款3項2目、港湾施設整備事業の翌年度繰越額9億9,311万円は、響灘東地区処分場整備事業のほか2事業において、関係者との調整等に日時を要したため、翌年度に繰り越すものでございます。

その下、10款4項2目、埋立地造成事業の翌年度繰越額8,000万円は、埋立地造成事業において、関係者との調整等に日時を要したため、翌年度に繰り越すものでございます。

59ページをお願いいたします。債務負担行為でございます。

表の一番下、響灘臨海工業団地立地促進事業の限度額13億8,500万円は、響灘臨海工業団地における企業の土地需要に対応するため、国有地の取得に要する経費でございます。

60ページをお願いいたします。表の下段、門司港地域複合公共施設整備事業の限度額6,850万円は、複合公共施設の建設工事等について債務負担行為を14億9,330万円減額するものでございます。

一般会計の補正予算議案については以上でございます。

次に、議案第214号、臨海部産業用地貸付特別会計補正予算でございます。

97ページをお願いいたします。歳入でございます。1款2項1目不動産売払収入の補正額4,091万円は、響灘地区において民間企業へ貸付けを行っていた土地の売却に伴い、土地売払収入を増額するものでございます。

98ページをお願いいたします。歳出でございます。1款1項1目臨海部産業用地貸付事業費の補正額4,091万円は、貸付用地の売却による土地売払収入を財源として、一般会計への償還金を増額するものでございます。

以上で港湾空港局所管議案についての御説明を終わらせていただきます。よろしく御審議いただき、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（吉田幸正君） 公営競技局次長。

○公営競技局次長 着座にて失礼いたします。公営競技局でございます。

今回提出しております公営競技局の関係議案は、議案第216号、令和6年度北九州市公営競技事業会計補正予算（第2号）でございます。

それでは、議案について御説明いたします。タブレットの令和6年度北九州市補正予算に関する説明書の113ページ、令和6年度北九州市公営競技事業会計補正予算実施計画を御覧ください。

本議案は、競輪事業の予算について補正をするものです。

まず、収入でございますが、1款1項1目車券発売収益、補正予定額75億円は、車券発売が好調なことから当初予算を上回る発売額が見込まれることによるものでございます。

続きまして、支出の1款1項1目開催費、補正予定額70億9,000万円は、車券発売収益の増に伴い、払戻金等の開催に要する経費を増額するものでございます。

以上、簡単ではございますが、説明を終わります。よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（吉田幸正君） これより質疑に入ります。なお、当局の答弁の際は補職名をはっきりと述べ、指名を受けた後、簡潔、明確に答弁を願います。

質疑はございませんか。高橋委員。

○委員（高橋都君） それでは初めに、産業経済局にお尋ねします。

オフィス立地促進補助金ですが、1億5,000万円が当初予算ということで、全体で今何件の補助金を出しているのか。入居者の賃料の半分と、あと人件費と聞いておりますが、これの内訳を教えてください。それと、今後、この9,100万円というのはあとどのくらいの補助を見込んでいるのか教えてください。

それと、中小企業融資です。損失補填ということで、保証協会が補償をして、市がその一部を補助するということになるかなと思うんですけど、その割合ですね。保証協会と市が補填する分の割合を教えてください。産業経済局はそれですね。

次に、港湾空港局ですが、市有地の処分、155号ですね。トランスウェブというところが売却先ということで、この市有地を流通保管施設として売り払うということなんですが、ここは車両、高級車をそこで保管するというので、そもそもこの会社はどこにあるのか。北九州市内ではないと聞いたんですけど、その事業所というのはどこかにあるのか教えてください。

それとあと、くい打ち工事ですけども、今回5億円の減額予算で、港湾空港局にもこれが入っているかなと思いますが、分離発注するというので、くい工事の期間というのは大体どのくらいかかるのか教えてください。以上です。

○委員長（吉田幸正君） IT産業誘致担当課長。

○IT産業誘致担当課長 オフィス立地促進補助金の補正予算について御質問いただきました。2点ありまして、1点目ですけれども、これまでの交付実績の内訳をということです。賃

料補助と雇用補助、もう一つ、改修補助、3つありますので、それぞれ申しますと、これまでの交付実績は賃料補助が25件、雇用補助が12件、改修補助が3件の合計40件ですね。11月末現在で40件の交付を行っております。

そして、令和6年度末の交付見込みです。それぞれ賃料、雇用、改修で45件、25件、11件の合計81件の交付を見込んでおります。それで増額補正の9,100万円となっております。以上になります。

○委員長（吉田幸正君） 中小企業振興課長。

○中小企業振興課長 損失補償につきまして、市の補填する、負担する割合ということでお尋ねいただきました。損失補償の仕組みですね、まず、信用保証協会が代位弁済したものの8割程度が保険で賄われます。この8割の残った2割部分を市と保証協会が負担するというようになっております。市の負担割合ですけれども、大体2分の1から3分の2程度ということになっておまして、全体でいいますと、損失補償、代位弁済した額の8%程度が市の負担ということになってございます。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 港営課長。

○港営課長 土地の処分先について御説明させていただきます。

処分相手先は、千葉県に本社を置き、輸入車の搬送、それから出荷前点検、保管を行う株式会社トランスウェブでございます。現在、福岡県内に輸送拠点を保有しておまして、新たに九州地方の受入れヤードとして、輸入高級車の保管業務を行う予定でございます。スケジュールにつきましては、本議案を承認いただけましたら、令和7年1月に着工して、令和7年度中に操業開始をする予定でございます。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 港湾空港局総務課長。

○港湾空港局総務課長 門司港地域複合公共施設整備事業のくい打ち工事に関する御質問にお答えいたします。

今回、整備事業の建築工事自体が御存じのように入札中止になったために、くい工事を分離発注するものでございます。本体の建設工事自体は、令和9年度中の完成に遅れが生じないように着手するというので、まず、先行できるくい工事を令和7年度当初から着手するというようになってございます。くい工事のスケジュールでございますが、申し訳ございません、所管が都市戦略局になっておりますので、詳細なスケジュールを私どもは現時点で把握しておりませんが、少なくとも令和9年度中の本体建設工事の完成ということでございますので、くい工事自体は令和7年度中には遅くとも完成すると考えてございます。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） ありがとうございます。オフィス立地促進補助金は、それだけ北九州市に事業所を設けようという数が増えたと受け取っていいのかなと思います。これの補助なんですけれども、全体で1億5,000万円に、あと9,100万円プラスするというので、これ以上は今の

ところはもうないと思っていいんでしょうか。今年度の見込みということでもいいんですかね。

○委員長（吉田幸正君） I T産業誘致担当課長。

○ I T産業誘致担当課長 委員がおっしゃるとおりで、今年度はこの見込みで大丈夫と認識しております。以上になります。

○委員長（吉田幸正君） 高橋委員。

○委員（高橋都君）ありがとうございます。事業所が北九州市に来ることは、これは大いに結構なんですけれども、その反面、長期にわたってここに居座ってもらうということも考えないといけないかなと思います。これは3年間の補助でしたよね。はい、分かりました。

次に、中小企業融資です。今言われましたけれども、約8%ということですが。あと今年度は、まだ少し残っているんですけども、8,000万円を減額するということは、これ以上はないとして、倒産が見込みよりも少なかったと考えていいんでしょうか。

○委員長（吉田幸正君） 中小企業振興課長。

○中小企業振興課長 今年度計上している予算につきましては、令和5年度、昨年度に支払いが不能となった金額を今年度に請求するというので今年度の額として確定しておりますので、今年度に関しては予算的にこれ以上増えることはないということで御理解いただければと思っております。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 高橋委員。

○委員（高橋都君）今年度、今までの倒産件数というのはどのくらいですか。あと、昨年度と比べて今どのくらいの状況なのかというのが、比較があれば教えてください。

○委員長（吉田幸正君） 産業政策課長。

○産業政策課長 市内の倒産状況についてお答えいたします。

令和6年度、4月から10月までの直近の数字が出ておりますが、負債額1,000万円以上の倒産件数は57件となっております。前年度の同じ時期、令和5年4月から10月が45件でございますので、増加率としては26.7%、約3割弱ほど増加しております。倒産の主な理由は、販売不振、赤字の累積といったものでございまして、以上のような傾向は全国と同様でございます。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 高橋委員。

○委員（高橋都君）ありがとうございます。倒産が増えているということで、今、物価高騰や、コロナ禍での人流が変わったとか、いろんな状況があるかなと思うんですけども、倒産がこれだけ増えているという状況の中で、市が倒産に至るまでの中で何かできることがあったんじゃないかと。融資額も今回減らしていますよね。そういうのを考えると、ちょっと心が痛むような思いなんですけれども、倒産した分の補償をすればいいというものではないと思うので、産業経済局として今後の対策をぜひ考えていただきたいということを申し添えておきます。

それとあと港湾空港局ですけども、この事業所は北九州市にはないんですかね。

○委員長（吉田幸正君） 港営課長。

○港営課長 現在、福岡県の八女市に拠点はありますが、北九州市にはございません。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 高橋委員。

○委員（高橋都君） 分かりました。市外からこうやって事業所が入ってくるというのはいいんですけれども、できたら北九州市に事業所があるとまた違うかなと思います。せっかくここで流通保管施設として扱うのなら、ぜひそういった方向で、事業所自体もここに来ていただくような努力をしていただければと思います。

あと、くい工事です。期間のことは専門じゃないと分からないと言われました。入札が決まらないのに、くい工事だけ別にやるというのは、我が党も質問の中で既成事実化じゃないかということを行いました。実際に来年度に入札するようになると思うんですけれども、今回、本当にそれが成立するかどうかということもまだ分からない状態で、くい工事だけ別に先にやるということについて、私たちはそれは受け入れられないということを申し上げておきます。工事の全体がつかめない状況でやるのかどうか。

それとあと、福岡市でも、くい工事の不備によってマンションが傾いたりとか、ゆがみがあったりとかで補償問題になっている。そういった中で、今の現地は海浜部と陸上部の全然地盤の違うところにやるということなんで、本当にくい工事というのは工事の中でも、安全の意味でも基礎の部分は重要だということも、建築家の方からもお聞きしております。北九州市は、それはよくあることですので言われたんですけど、ほかの建築家の方、また専門家の方に聞いたら、本来なら一体でやるのが普通だというふうな、当たり前なのだとして、ちょっと考え方に食い違いがあるというので、私もその辺が専門家ではないから分からないんですけども、大体は一体にやるべきものだと決まっています。

ですから、本体工事がまだ決まっていないのに、くい工事だけ切り離して先にやるというのは、今後の計画がスムーズにいくようにと言っておりますけれども、本来なら同じようにやっていくというのが、慎重にやるという意味ではそうなのかなと思うので、先行してやるということがまず間違いではないかなと思います。それとあと、その場合の責任はどこが取るかということもきちんと考えていかなければならないかなと思いますので、これは我が党の考え方として申し上げておきます。以上です。何かあれば。

○委員長（吉田幸正君） 答弁ありますか。いいですか。高橋委員。

○委員（高橋都君） 何かあれば。いいですか。はい。

○委員長（吉田幸正君） では、ほかに。本田委員。

○委員（本田一郎君） 2点お伺いいたします。

まず1点目が、農地と農業用施設の復旧の補助です。560万円とありますけれども、こういったところを復旧するのか具体的に教えてください。

もう一点が、公営競技局であります。75億円の収入の増ということで、支払い等が70億9,000万円ということなんですけれども、差額は4億1,000万円です。これは利益として考えてよろしいのでしょうか。

以上2点、教えてください。

○委員長（吉田幸正君） 農林施設担当課長。

○農林施設担当課長 災害復旧の件でお伝えします。

今回、8月の台風に伴う集中豪雨で、小倉南区合馬地区の棚田の崖が壊れました。高低差3.9メートルの棚田の崖が壊れて、それを元に戻す災害復旧の工事でございます。延長としたら、幅23メートル分の崖が壊れました。それをブロック積み擁壁55平米と土羽64平米で復旧するという中身になっています。以上です。

○委員長（吉田幸正君） 競輪事業課長。

○競輪事業課長 収入ですけれども、75億円を増額するという補正を上げております。それと、支出予算は70億9,000万円を補正で上げさせていただいております。この差額が4億1,000万円増ということで、これは我々の収益という考え方で間違いございません。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 本田委員。

○委員（本田一郎君） 今、復旧工事に関して細かく説明していただき、補助は560万円なんですけど、全体としてはどれぐらい費用がかかったか教えてください。

○委員長（吉田幸正君） 農林施設担当課長。

○農林施設担当課長 全体の事業費としては940万円でございます。以上です。

○委員長（吉田幸正君） 本田委員。

○委員（本田一郎君） ありがとうございます。これは、組合なり、ここを利用している農業関係者の方が負担したということでよろしいでしょうか。

○委員長（吉田幸正君） 農林施設担当課長。

○農林施設担当課長 現場といたしましては、今から復旧工事を行うわけですけど、11月に国の災害査定は終わってしまっていて、満額560万円が認められております。工事は、承認をいただいた後に市が発注しまして現場を復旧するということになります。以上です。

○委員長（吉田幸正君） 本田委員。

○委員（本田一郎君） ありがとうございます。次は公営競技局でありますけれども、4億1,000万円がそのまま利益ということでありますので、発券を多くして増額すれば、もっと収益が増えるということでありますので、もっともっと売っていただきたいなと率直に思いました。私からは以上です。

○委員長（吉田幸正君） ほかにございましたら。奥村委員。

○委員（奥村直樹君） 私からは、複合公共施設整備事業の減額の部分なんですけど、これは前に、そもそも予算が出てきたときに、それぞれの施設の面積割で分割して計上すること自体が分か

りにくいんじゃないかって議論があったと思うんですけど、今回の減額も同じことが起きているなと思っています。予算がそれぞれ各局に割られているということは、もちろん責任もそれぞれに割られているわけですけども、何というか、この中身、例えばさっきの話もそうですが、今後の工事の行く末とかに、港湾空港局に一部予算が割り振られているということは、発言権というか、このことに対して港湾空港局からも意見を申し述べるができるんですかね。それとも、あくまでも予算が割り振られているだけという状況なんですかね。それは具体的にどうでしょうか。

○委員長（吉田幸正君） 港湾空港局総務課長。

○港湾空港局総務課長 複合公共施設に関する御質問でございます。私どもは入居する局として、施設を管理する所管として予算を上げさせていただいておりますが、その前提として、複合公共施設を造るに当たって、局としてどういうふうなものにしてほしいだとか、使い勝手だとか、そういったことは設計当初から物を言わせていただいておりますし、要望等も上げさせていただいておりますので、何も言えないということではなくて、連携をしながら、言いたいことは言いながら進めていっております。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 奥村委員。

○委員（奥村直樹君） 今回、区役所との合算で、面積を集約して、1万600平米から8,946平米に減るということで、会議室、トイレ等の共用利用とあるわけですけど、これは港湾空港局だけでいうとどんな感じという数字はあるんですかね。

○委員長（吉田幸正君） 港湾空港局総務課長。

○港湾空港局総務課長 港湾空港局ですと、執務スペースの専有部分だけで約1,500平米、廊下等の共用部分をプラスすると2,000平米ということで、港湾空港局は5階に入居する予定ですけども、2,000平米という形になっております。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 奥村委員。

○委員（奥村直樹君） 3,500平米がもともとですよ。それがどのぐらい減る予定なんですかね。

○委員長（吉田幸正君） 港湾空港局総務課長。

○港湾空港局総務課長 現状の港湾空港局庁舎のスペースは約3,500平米ほどございます。3,500平米のうち、効率化を考えたり、使っていない部分はなるべく使わないようにしようということで、現状の港湾空港局庁舎で使っているスペースは約2,500平米ほどでございます。ですから、入居するに当たって、これから約500平米ほど減らす必要があると考えてございます。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 奥村委員。

○委員（奥村直樹君） これはちょっと今回と直接関係ない、要望だけなんですけど、今後、これでもう一回予算を計上し直すと思いますので、この間、本会議で言ったんですけど、もしさ

らに集約というかですね、できる分があったら、ぜひ知恵を絞っていただいて、空けるスペースがあるなら空けていただくように、上に上にと考えて発言したんです。また考えられることがあれば、この期間があるんで、ぜひ御検討いただきたいと思います。予算を出す分、意見を言えるということでしたんで、ぜひ主体的にやっていただけたらと思います。要望で終わります。

○委員長（吉田幸正君） ほかにございましたら。渡辺徹委員。

○委員（渡辺徹君） 門司の委員が3名いらっしゃいますが、その中で私だけ質問しないというわけにもいかないんで。複合公共施設の件なんですけど、港湾空港局の建物は何年ぐらいになるんですかね。

○委員長（吉田幸正君） 港湾空港局総務課長。

○港湾空港局総務課長 今年で建設から59年、来年で60年を経過する建物でございます。以上でございます。

○委員長（吉田幸正君） 渡辺徹委員。

○委員（渡辺徹君） ありがとうございます。60年ということで、海岸線ですから特に傷みも激しくて、私は時々行っているんですけど、本当に使いにくいんですよ。局長の部屋まで上がろうと思うけど、息が切れて、我々は上がり切らないんですよ。それぐらい、階段も急ですし、奥行きが狭いんでそういう造りになるんだと思うんですが、市民のため、それから港湾関係従事者のためには早くそういったものを解消してもらいたいと思うんですけど、やっぱり使い勝手というところを、先ほど話がありましたが、一日も早く造り替えていただきたい。そして、職員もそうでしょうけど、御相談に行く市民のためには、やっぱりそういったところをしっかりと精査して使いやすいようにやっていただきたい。

私はどうせもう来年、見届けることができませんけど、外からは見えるし、できたときは中にちょっと入れさせていただいて、ぜひじゃけんにならないようにしていただきたいと思うんですが、皆さん方もあと何年、港湾空港局にいらっしゃるかどうか分かりませんが、後輩のためにしっかりと使いやすい、そして市民の対応をしやすい造りを検討していただきたいと思いますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。以上です。

○委員長（吉田幸正君） ほかにございましたら。副委員長と代わります。

（委員長と副委員長が交代）

○副委員長（渡辺修一君） 吉田委員。

○委員（吉田幸正君） 1つだけ教えてください。公営競技局は、素晴らしいことにファンからの投票が増えて、収入が増えて、当然、支出も増えるんですが、結果として約5億円の収入が増えた。これについてどういうふうに考えるかというのを教えてほしい。普通、増額というか、特にもうかった場合は、今までやりたかったこととか、今後の大きな目標とかを立てると思うんですけど、率直に、5億円収入が増えたということで今後どういうふうに活動されるか教え

てください。以上です。

○副委員長（渡辺修一君） 公営競技局総務課長。

○公営競技局総務課長 先ほど申し上げたとおり、約4億円から5億円の収益、いわゆる純利益が増えることとなります。一方で、毎回こちらでお伝えしておりますように、競輪事業はまだ起債の償還がおおむね30億円弱ございます。これは償還財源として、今年、令和5年度の決算議会では5億円ほどを、減債とあって、起債を減らすために積立てさせていただきました。ですから、基本的には来年度の利益処分の段階ではなるべく起債償還にと考えておりますけれども、こちらはまた内部でよく相談いたしまして、決算のときに利益処分の方法については検討させていただきたいと考えております。以上でございます。

○副委員長（渡辺修一君） 吉田委員。

○委員（吉田幸正君） 特に、一般の企業であれば、特別に人気が出てもうかった。そのときに、今の話では返さなければならない。いわゆる借金みたいなものを早く返そうかという議論も当然あるんだろうと思うんですが、同時に、それは計画どおりに進んでいることだと僕は理解していますので、特にもうかった場合には、より魅力のある施設にするための投資の原資じゃないかなと僕自身は思います。ですから、予定どおり返済する、いわゆる借金に充てるのか、もしくはより魅力のある施設にするために活用していくのかという議論が必要になってくると思います。私の立場からすると、競輪というかメディアドーム自体の活性化も含めて、価値というか期待値が上がってきていますので、ぜひもうかったお金を、市民への還元を含めて、いい事業になるようにしっかりとまた議論をしていただきたいと要望して、私からは終わります。

○副委員長（渡辺修一君） 委員長と交代します。

（副委員長と委員長が交代）

○委員長（吉田幸正君） ほかになければ、以上で議案の審査を終わります。

明日も午前10時に開会いたします。

本日は以上で閉会いたします。

経済港湾委員会	委員長	吉田幸正	印
	副委員長	渡辺修一	印